

## 一緒に出勤、一緒に帰宅 ママを支援

子育て中の母親向けのキッズスペース併設オフィス「京王ママスクエア」が20日、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター（多摩市関戸1）で業務をスタートする。子連れで出勤して、預けた子どもをガラス越しに見ながら働くことができる。都内では初開業だが、求人の6倍の応募が集まる人気ぶりで、運営会社は今後も同種のオフィスを増やす計画だ。

【賀川智子】

### 多摩きょう業務開始

オフィスは京王電鉄が開設し、運営を港区の「ママスクエア」（藤代聰社長）に委託する。仕事内容は求人情報会社大手の「リクルートジョブズ」から委託されたコールセンター業務。週3日、1日3時間から勤務可能で、従業員の子（1歳～小学6年）は無料で才（33）の妊娠を機に仕事

キッズスペースが使える。行事への出席や子どもの迎えなどで、休憩を取って一時外出することも可能だ。

オフィスは京王電鉄キッズスペースが使える。行事への出席や子どもの迎えなどで、休憩を取って一時外出することも可能だ。

ママスクエア社によると、相場より安い時間設定ながら、50人の求人に約300人の応募があったという。従業員の高野美香さん（33）は、長男礼翔くん（3）の妊娠を機に仕事

# 子ども見ながら仕事

を辞め、4年間のブランクの後、応募した。「復職を希望していたが、保育所に入れず諦めていた。短時間でも

子育て以外のことを集めて、お金も稼げてうれしい」と話す。脇

之園智江さん（41）は、前の仕事では子どもが急な熱で休んだ場合、同僚に穴埋めを頼むしかなかったが、今回は

「オフィスが受託している仕事の量も月単位だから、（同僚と）フローリーしあえる」と話す。

同社は昨年12月に創

業。「子どものそばで働く新しいワーキングスタイル」をめざし、今年4月に埼玉県川口市のララガーデンに

最初にオープンし、聖蹟桜ヶ丘は2カ所目。藤代社長は「お母さんが安心して活躍できる

る場を作ることで、子どもにもいい影響になるのでは」と話しています。



働いているお母さん（左奥）からガラス越しに、子どもの様子が見えるママスクエア（写真は研修中の様子）＝多摩市で